

中島教授... 七月二十日午後十時... 中島教授は七月二十日午後十時、法政部長に...

線曲双題問大京るま深糾紛

解決案解釋を繞り 不幸・教授團分裂す

助教授も二氏残留に決し 兩派各聲明書を發表

組全瓦 文部省讓歩し 目的貫徹す

七教授留任のためと 法務部存立のためと



「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

解決案

七月二十日午後 法務部存立のためと

組碎玉

研究の自由は 確保されず 田村、恒藤兩教授 留任の意義なきを説く

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

目的貫徹せずと 六氏辭任に決す

近藤、齋藤兩氏のみは 師に殉じて残留 五全組 全組留任を主張す

手副手助助 小早川氏のみ除名

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

CORONA Model S 英、佛、蘭、米、各語 兼、化、工、業、用 凡て、工、業、用 大型専用機一四枚

京大學生 運動新聞 既に三圖發行

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

出頭懇請 學生課から

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

編會岳山本日 谷深山高

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

京大學生 運動新聞 既に三圖發行

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

出頭懇請 學生課から

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

編會岳山本日 谷深山高

「法務部存立のため」として、文部省は七月二十日午後十時、法政部長に...

北斗 北海特輯號 八月八日 谷深山高 編會



# 問題の渦中を いとも朗かに

## 全国高専大会済む

全高専大会は、問題の渦中をいとも朗かに、全国高専大会が済んだ。この大会は、高専界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。大会の結果、各校の實力が明らかになり、今後の高専教育の発展に貢献するものと期待されている。

## 雌伏三年で 六高傳統を謳歌す

### 第廿回全国柔道大会

柔道部は、雌伏三年を経て、六高傳統を謳歌す。第廿回全国柔道大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、柔道界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 陸の覇者習院 二年連勝す

### 新記録出の陸上大会

陸上競技部は、二年連勝を挙げ、新記録を出した。陸上大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、陸上界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 射撃個人 射撃個人

射撃部は、個人戦で優勝を収めた。射撃大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、射撃界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 浦田川競漕 横工連勝す

漕艇部は、横工連勝を挙げた。漕艇大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、漕艇界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 高専剣の急迫

剣道部は、高専剣の急迫を感ずる。剣道大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、剣道界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 早高快勝 大阪外語に

早稲田大学は、大阪外語に快勝した。早稲田大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、早稲田界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 高知勝

高知大学は、優勝を収めた。高知大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、高知界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 姫高勝

姫高大学は、優勝を収めた。姫高大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、姫高界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

## 軍教萬歳

軍教萬歳を叫ぶ。軍教萬歳大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、軍教萬歳界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 全国高専野球大会

高専大会に非ず  
専門校大会で  
優勝戦は  
横濱高専5A-3松山高専

優勝戦は、横濱高専5Aと松山高専3との対戦となった。この試合は、両校の實力を競う場となり、優勝を収めた。この大会は、高専界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 高専松山

高専松山は、優勝を収めた。高専松山大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、高専松山界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### ルービヒサア

ルービヒサアは、優勝を収めた。ルービヒサア大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、ルービヒサア界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 軍教萬歳

軍教萬歳は、優勝を収めた。軍教萬歳大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、軍教萬歳界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 立命豫の連勝

立命豫は、連勝を挙げた。立命豫大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、立命豫界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 武蔵優勝

武蔵は、優勝を収めた。武蔵大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、武蔵界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 京都ソルン

京都ソルンは、優勝を収めた。京都ソルン大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、京都ソルン界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 暑中御見舞

暑中御見舞申し上げます。暑い季節になりました。皆様のご健康をお祈りいたします。

### 日佛文化

日佛文化は、優勝を収めた。日佛文化大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、日佛文化界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 洋服

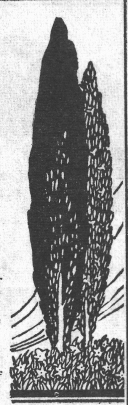
洋服は、優勝を収めた。洋服大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、洋服界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 経済史研究

経済史研究は、優勝を収めた。経済史研究大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、経済史研究界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。

### 海外遊

海外遊は、優勝を収めた。海外遊大会で、各校の實力を競い、優勝を収めた。この大会は、海外遊界の一大イベントであり、各校の實力を競う場となった。



# アンドレ・ジイドの 轉向に就いて

大岡昇平

「アンドレ・ジイド」の轉向に就いて、大岡昇平の著する。この書は、ジイドの文學的轉向を論じている。ジイドは、戦前までは、一種の「文壇的」作家として知られていたが、戦後には、一種の「社会的」作家として知られるようになった。この書は、その轉向の理由を論じている。ジイドは、戦前の文壇で、一種の「文壇的」作家として知られていたが、戦後には、一種の「社会的」作家として知られるようになった。この書は、その轉向の理由を論じている。

## 海に山に

讀むべき新刊  
野口 勲

「海に山に」野口勲の著。この書は、海と山をテーマにした小説である。主人公は、海と山を愛する青年である。彼は、海と山の間を往復し、自分の人生を生きる。この書は、自然の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。野口勲は、この書で、自然の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。

## 「文壇地獄」

植水 賢

「文壇地獄」植水賢の著。この書は、文壇の裏側を描いた小説である。主人公は、文壇で生きる作家である。彼は、文壇の裏側で、苦闘を続ける。この書は、文壇の裏側を描き、人間の苦闘を描く。植水賢は、この書で、文壇の裏側を描き、人間の苦闘を描く。

## 「風を切る」

氷川 泉

「風を切る」氷川泉の著。この書は、風をテーマにした小説である。主人公は、風を愛する青年である。彼は、風を切ることで、自分の人生を生きる。この書は、風の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。氷川泉は、この書で、風の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。

## 「新しい弟子」

若原 雅夫

「新しい弟子」若原雅夫の著。この書は、師と弟子を描いた小説である。主人公は、師と弟子である。彼は、師から学ぶことで、自分の人生を生きる。この書は、師と弟子の関係を描き、人間の成長を描く。若原雅夫は、この書で、師と弟子の関係を描き、人間の成長を描く。

## 文學貧困時代

後田 二雄

「文學貧困時代」後田二雄の著。この書は、文學の貧困を描いた小説である。主人公は、文學の貧困を生きる作家である。彼は、文學の貧困の中で、自分の人生を生きる。この書は、文學の貧困を描き、人間の苦闘を描く。後田二雄は、この書で、文學の貧困を描き、人間の苦闘を描く。

## 歌ふ噴水

坂本勉 郎

「歌ふ噴水」坂本勉郎の著。この書は、噴水をテーマにした小説である。主人公は、噴水を愛する青年である。彼は、噴水を歌うことで、自分の人生を生きる。この書は、噴水の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。坂本勉郎は、この書で、噴水の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。

## 老坑夫の語

古市 春彦

「老坑夫の語」古市春彦の著。この書は、老坑夫を描いた小説である。主人公は、老坑夫である。彼は、老坑夫の語を語ることで、自分の人生を生きる。この書は、老坑夫の語を描き、人間の苦闘を描く。古市春彦は、この書で、老坑夫の語を描き、人間の苦闘を描く。

## 山の怪異譚

古市 春彦

「山の怪異譚」古市春彦の著。この書は、山の怪異を描いた小説である。主人公は、山の怪異を語る青年である。彼は、山の怪異を語ることで、自分の人生を生きる。この書は、山の怪異を描き、人間の苦闘を描く。古市春彦は、この書で、山の怪異を描き、人間の苦闘を描く。

## 抄

後田 二雄

「抄」後田二雄の著。この書は、抄をテーマにした小説である。主人公は、抄を愛する青年である。彼は、抄を切ることで、自分の人生を生きる。この書は、抄の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。後田二雄は、この書で、抄の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。

## 死

後田 二雄

「死」後田二雄の著。この書は、死をテーマにした小説である。主人公は、死を愛する青年である。彼は、死を切ることで、自分の人生を生きる。この書は、死の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。後田二雄は、この書で、死の美しさを描き、人間の心を癒す力がある。

## 夏枯れの 八月論壇

原 辰雄

「夏枯れの八月論壇」原辰雄の著。この書は、夏枯れをテーマにした論壇である。主人公は、夏枯れを愛する青年である。彼は、夏枯れを切ることで、自分の人生を生きる。この書は、夏枯れの美しさを描き、人間の心を癒す力がある。原辰雄は、この書で、夏枯れの美しさを描き、人間の心を癒す力がある。